東　京　国　公　だ　よ　り

**東京国家公務員・独立行政法人労働組合共闘会議　2024年1月4日　63-011**

**メール**[**アドレスuematsu@tk-kokko.org**](mailto:アドレスuematsu@tk-kokko.org)**東京国公HP**[**http://tk-kokko.org/**](http://tk-kokko.org/)

***組合員の皆さん***

***新年あけましておめでとうございます***



**辰年は「時代を動かす『変革（転機）』や『激動』の年と呼ばれています。 実際辰年は政治の大きな変化が起きることが多い年です。 戊辰戦争（1868年）、日露戦争（1904年）が辰年に起きています。 また戦後では、皇居前でデモ隊と警察が衝突して1500名が死傷した血のメーデー事件（1952年）も辰年に起きています」と言われるのが定番ですね。**

・・・ならば今年は国民が主人公の日本国にする「激動」を起こしましょう！○日本国憲法が生き生きと活きる日本　○国民が真に主人公となる日本　○軍事優先から生活中心の政治＆行政が実行される日本　○大企業本位ではない経済政策中心の日本！！！

**働きやすく、住みよい日本に向けて今年も大いに奮闘しましょう！**

**激動の年と言われる辰年です。東京国公は官民共同行動を軸に、国民の皆さんや中小零細企業の経営者の皆さんとも連携し合って、年明けから早々に行動を展開する決意です。**

**組合員さんのほとんどの方々が職場の要として重要な仕事を抱えています。その内容も国民の生命・財産・安全・安心を守る、国民にとっては欠かすことのできないものです。**

**官民共同の力で、「物価は抑制、賃金は大幅引き上げ」を勝ち取りましょう！**

**まずはお身体を大事にし、仕事を通して国民生活をしっかり守りましょう！**

**東京国公は政策提言と官民共同行動を通じて、公務員労働者と国民を守るために大いに奮闘します。**

**☟2024春闘最大の課題！☟**

**物価は下げて！賃金上げて！生活はもう限界！**

**11月（2023年）の消費者物価は対前年同月比2.5％上昇　*対前年同月比を上回るのは27ヵ月連続　　2％超え上昇は20ヵ月連続　3％超え上昇は12ヵ月連続（2023年9月時点）***

**総務省「統計局」が、１２月２２日（２０２３年）に発表した１１月の全国消費者物価指数（２０２０年＝１００、生鮮食品を除く）は、前年同月比２．５％上昇の１０６.４でした。伸び率は１０月の２.９％から縮小しましたが、物価指数(２０２０年を１００とする)は、１０６．４で同じです。物価高騰は引き続き続いてます。物価指数が前年同月を上回るのは２７ヵ月月連続、２％以上の上昇は２０ヵ月連読です。（ちなみに３％以上の上昇は９月-２０２３年-時点まで１２カ月連続でした）**

**各種報道では、消費者物価について、「落ち着いてきている」との論調が目につきます。おそらく昨年９月以降、消費者物価の対前年伸び率が３％を切ったからでしょう。しか**

**し大事なの指数です。２０２０年の物価平均を１００とした場合、１０月は１０７．１、**

**１１月は１０６．９です。対前年同月比伸び率がやや減少したのは、すでに昨年来、円安**

**に端を発した物価の大幅上昇が続いており、対前年比では昨年９月以降上昇幅が下がって**

**いるからです。しかし２０２０年平均値から比較した物価指数は大幅な上昇を続けていま**

**す。そこをしっかり見極める必要があります。**

**１０％以上の賃金引上げ要求は労働者の要求であり、国民の要求でもあります。「物価を下げろ！賃金上げろ」の大きな世論を作りましょう！**

**（詳細は東京国公速報で後ほど送ります）**